

# 3.研究開発マネジメントの妥当性

## (1)マネジメント体制

- 1 「京」の開発体制(中間評価前)
- 2 「京」の開発体制(中間評価後)
- 3 中間評価を踏まえたシステム構成変更のポイント
- 4 「京」開発・整備に係る経費の推移について
- 5 研究開発体制(次世代ナノ統合シミュレーションソフトウェアの研究開発)
- 6 研究開発体制(次世代生命体統合シミュレーションソフトウェアの研究開発)

## (2)プロジェクトのマネジメント

- 1 マネジメントにおける配慮事項
- 2 ターゲットアプリケーションについて

## (3)アプリケーションの拡大促進のための取組

アプリケーションの拡大促進のための取組(1)～(3)

## (4)スパコン技術に関する人材育成

スパコン技術に関する人材育成

## (5)利活用の運用サポート体制

- 1 利活用の運用サポート体制～1～(「京」の共用の枠組み)
- 2 利活用の運用サポート体制～2～(登録機関の取り組み)

# (1)-1 「京」の開発体制(中間評価前)

- 理化学研究所内に野依理事長を本部長とした次世代スーパーコンピュータ開発実施本部を平成18年1月1日に設置。
- 開発実施本部は、渡辺貞をプロジェクトリーダーとし、プロジェクト推進に係わる企画調整を行う企画調整グループ、次世代スーパーコンピュータの開発を行う開発グループで構成。
- アプリケーション検討部会や、プロジェクトリーダーへの助言をするアドバイザリーボードを設置。
- 有識者を客員研究員として招いたほか、外部機関と協力協定を締結し、開発を推進。

